ONKYO

GX-W70HV

WIRELESS ACTIVE SPEAKER SYSTEM

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

特長

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法や仕様は同じです。

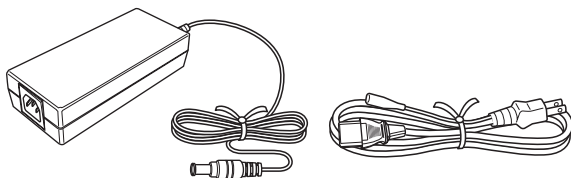
■ 本機は 10cm OMF ダイヤフラム（OMF とは Onkyo（オンキヨー） Micro（マイクロ） Fiber（ファイバー） の略です）を採用し、クリアでリアルなサウンドを再生することができるアンプ内蔵のスピーカーシステムです。
■ 無線 LAN 接続に対応しており、お手持ちの Windows®7 の PC なら、WPS 対応無線 LAN 親機との接続のみで、高品位な再生音を楽しむことができます。
■ サブウーファー出力端子にお手持ちのサブウーファーを接続して、さらにクオリティーの高い低音を再生することができます。
■ RCA ピンジャック入力端子にお手持ちの機器を接続して、高品位な音をお楽しみいただけます。
■ 80kHz まで再生できるツィーターで伸びのある高域再生
■ ノイズを低減する S ラインエッジ・ウーファー
■ ハイクオリティ 15W ＋ 15W アンプ搭載
■ バス、トレブル調節つまみ
■ 硬度が高く響きの良い MDF 木製キャビネット
■ ヘッドホン端子を使用して深夜など周りの迷惑にならずにクオリティの高い音を楽しむことができます。（再生音のクオリティは、お手持ちのヘッドホンに左右されます。）

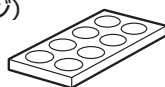
- OMF® の名称、ロゴはオンキヨー株式会社の登録商標です。
- DLNA、DLNA CERTIFIED は、Digital Living Network Alliance の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Media は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

付属品

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（　）内の数字は数量を表しています。

- アナログ入力用接続コード（1）〔ステレオピンプラグ⇔ステレオミニプラグ（1.0 m）〕

- AC アダプター〈NU60-F240250-I1〉（1）と電源コード（1）

- スピーカーコード 1.5 m（1）

- スペーサー（8）（☞19 ページ）

- 取扱説明書（本書 1）
- 保証書（1）

ご注意

- 梱包材や外箱は、修理および交換時の輸送用として使用する場合のために処分せずに保管しておくことをおすすめします。もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、お買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままではご使用にならないでください。
- 本機に付属している AC アダプター以外は絶対に接続しないでください。故障の原因となります。付属の AC アダプター以外のものを使用されたことにより本機が故障した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

目次

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

● 本機の裏ぶたは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
● 本機を分解､改造しないでください。火災･感電の原因となります。

■ 100V 以外の電圧で使用しない

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。
● 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から 10cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から 2cm 以上、背面から 5cm 以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。 火災·感電の原因となります。
- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

■ 設置上の注意

- ぐらついた台の上や傾いた所、厚手のじゅうたんの上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 移動させる場合は、サランネットやスピーカーユニットに手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続コード、スピーカーコードをはずしてから行ってください。落下・転倒など、思わぬ事故の原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。

■ 使用上の注意

- 音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で使えなくなったり、データが消失することがあります。
- 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ AC アダプター、電源コードの注意

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。
- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 付属の AC アダプターおよび電源コード以外は使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- AC アダプターから何か焦げたようなにおいがしたり、表面がかなり熱いときはすぐに電源プラグを抜いてください。そのままご使用になると、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアース端子に取り付けてください。アース線を接続しないと、感電の原因となることがあります。

■ 点検について

電源プラグをコンセントから抜いてください

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
- 使用環境にもよりますが、2 年に 1 回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
  本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

電波について

● 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

● 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

● 次の場所では本機を使用しないでください。
ノイズが出たり、音が途切れて通常のご使用ができないことがあります。
- 2.4GHz 用周波数帯域を利用する、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetooth などの機器の近く。
  電波が干渉して音が途切れることがあります。
- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナーなどのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。
  音声や映像にノイズがのることがあります。

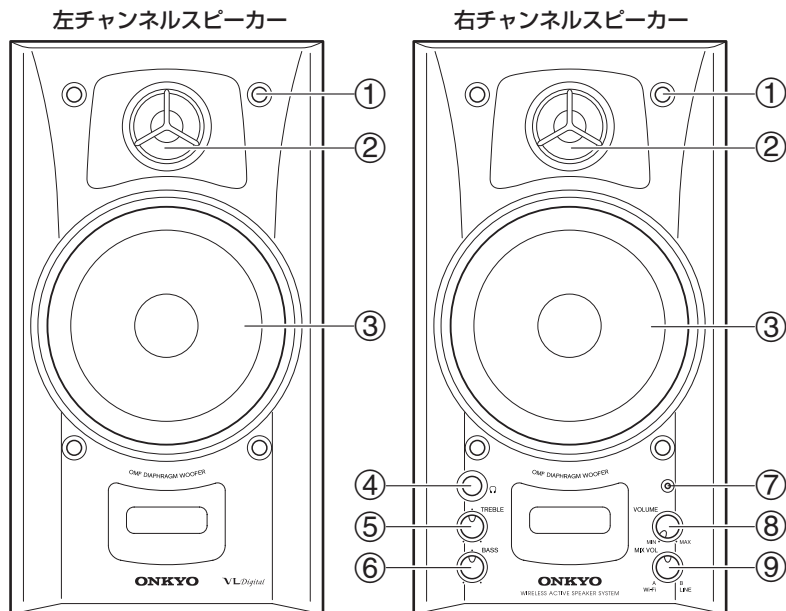
本機を使用する周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意いただきご使用ください。
- 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合、速やかにご使用の周波数を変更するか、使用を停止してください。混信回避のための処置等については、コールセンター（本書裏表紙に記載）へご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、コールセンター（本書裏表紙に記載）へお問い合わせください。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。
特に静かな夜間には音量を下げてききましょう。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

各部の名前と主な働き

■ 前面パネル

左チャンネルスピーカー　　右チャンネルスピーカー

① **サランネット取り付けホルダー**

② **ツィーター**

③ **ウーファー**

④ **ヘッドホン端子（🎧）**

ステレオミニプラグのヘッドホンやイヤホンを接続します。接続するとスピーカーからの音は聞こえなくなります。

⑤ **トレブルつまみ（TREBLE）**

高音部の再生レベルを調整します。
つまみを右に回すと、再生レベルが大きくなり、左に回すと小さくなります。
通常使用時は、中央の位置にしておきます。

⑥ **バスつまみ（BASS）**

低音部の再生レベルを調整します。
つまみを右に回すと、再生レベルが大きくなり、左に回すと小さくなります。
通常使用時は、中央の位置にしておきます。

⑦ **パワー / コネクトインジケーター**

電源が入ると点滅を開始します。無線 LAN 接続が完了すると連続点灯状態になります。

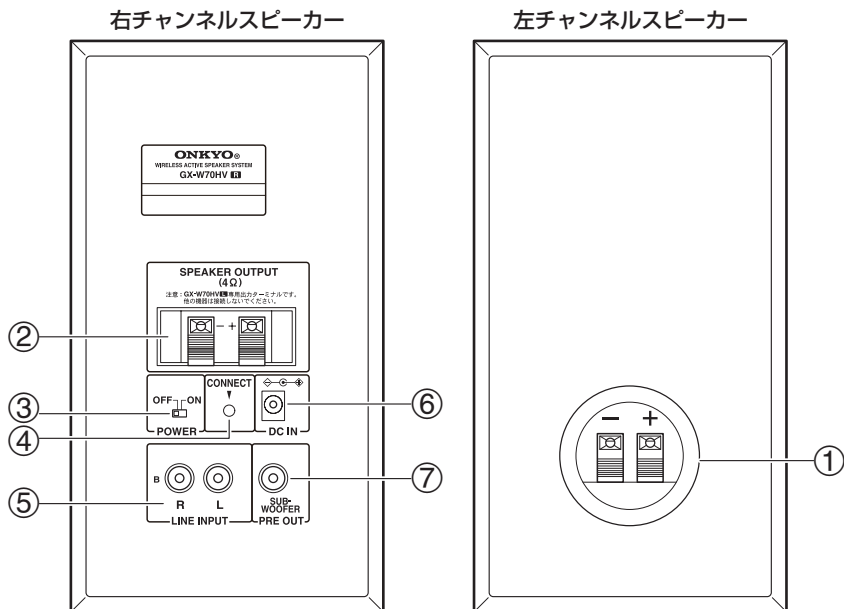
⑧ **ボリュームつまみ（VOLUME）**

音量を調整します。右に回すと音量レベルが大きくなります。

⑨ **ミキシングボリュームつまみ（MIX VOL）**

無線 LAN に接続した機器から入力される音量レベルと、背面の信号入力端子（LINE INPUT B）から入力される音量レベルのバランスを調整します。左に回すと無線 LAN に接続した機器からの音量、右に回すと信号入力端子（LINE INPUT B）からの音量レベルが大きくなります。
無線 LAN に接続した機器のみの入力の場合は、左いっぱいの位置 Wi-Fi（A）に、信号入力端子（LINE INPUT B）のみの入力の場合は、右いっぱいの位置 LINE（B）にしてください。

スピーカーユニット（ウーファー、ツィーター）部には触れないでください。
特に本機のツィーターの振動板には非常にデリケートな材料が使われています。物があたったり、手で触れると破損する恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。

■ 背面パネル

① **スピーカー端子**

右チャンネルスピーカーの左チャンネルスピーカー出力端子（SPEAKER OUTPUT）②に接続します。

② **左チャンネルスピーカー出力端子（SPEAKER OUTPUT）**

左チャンネルスピーカーと接続するための端子です。左チャンネルスピーカー以外は接続しないでください。

③ **電源スイッチ（POWER ON/OFF）**

本機の電源をオン / オフします。

④ **コネクトボタン（CONNECT）**

無線 LAN 接続を設定するときに押します。

⑤ **信号入力端子（LINE INPUT B）**

本機に信号を入力するための端子です。
RCA ピンジャックの入力端子です。

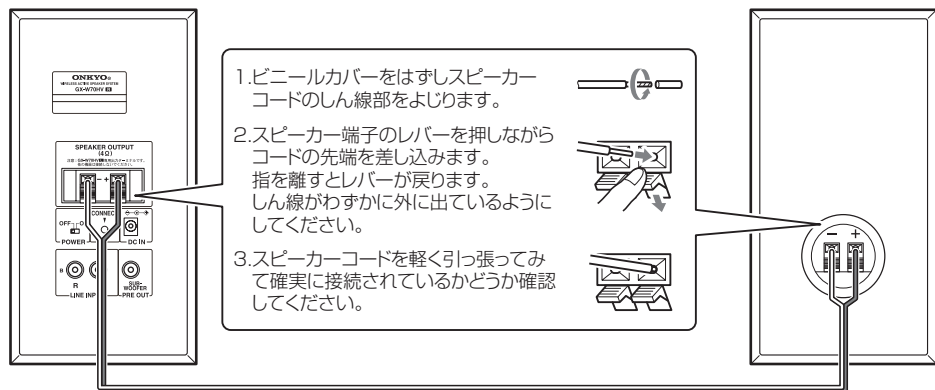
⑥ **AC アダプター接続端子（DC IN）**

本機に電源を供給するために、AC アダプターを接続する端子です。
付属の AC アダプターをご使用ください。

⑦ **サブウーファー出力端子（SUBWOOFER PRE OUT）**

本機とお手持ちのアンプ内蔵サブウーファーとを接続するための端子です。
モノラル出力です。

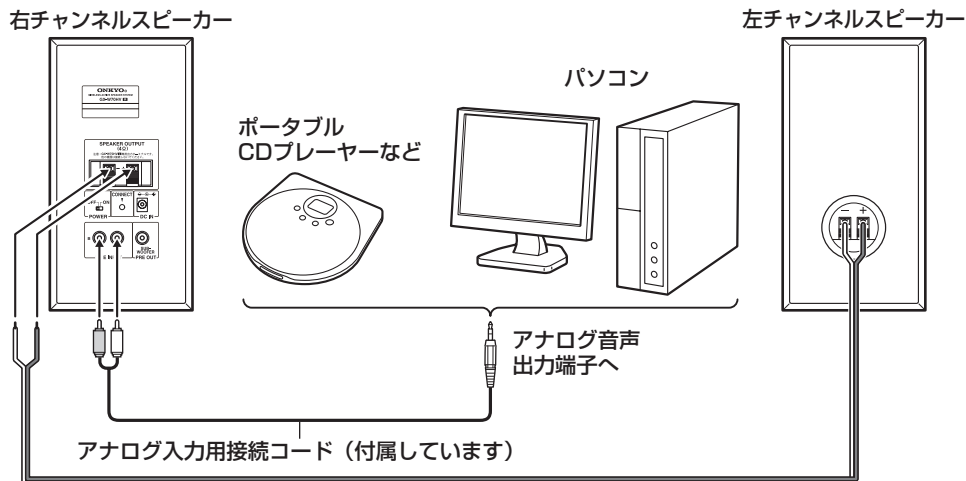
左右のスピーカーを接続する

付属のスピーカーコードで左チャンネルスピーカーと右チャンネルスピーカーを接続します。
図のように、右チャンネルスピーカーのプラス⊕と左チャンネルスピーカーのプラス⊕を、右チャンネルスピーカーのマイナス⊖と左チャンネルスピーカーのマイナス⊖を接続します。

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 電源を入れる前には、必ずボリュームつまみ（VOLUME）を左に回して最小の位置にしておいてください。
- また、本機に接続する他の機器の電源も入れないでください。
- 左チャンネルスピーカー出力端子（SPEAKER OUTPUT）は左チャンネルスピーカーを接続する専用の端子です。他のスピーカーやアンプは接続しないでください。
- 左チャンネルスピーカーのスピーカー端子は、右チャンネルスピーカーの左チャンネルスピーカー出力端子（SPEAKER OUTPUT）に接続する専用端子です。他のスピーカーやアンプには接続しないでください。
- スピーカーコードの接続は、しん線部が隣の端子や金属部に触れていないかよく確認してください。接触したまま動作させると右チャンネルスピーカー内蔵アンプの故障の原因となります。

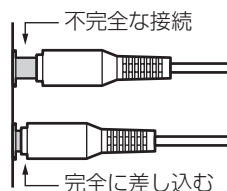
外部機器を接続する

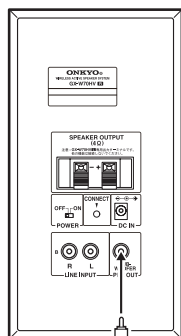
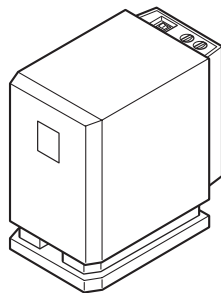
■ アナログ入力を接続する場合

オーディオ機器、パソコン本体またはサウンドボードのアナログ音声出力端子と本機の信号入力端子（LINE INPUT B）を付属のアナログ入力用接続コードで接続します。（R 端子には赤いプラグを、L 端子には白いプラグを差し込んでください）

！ヒント

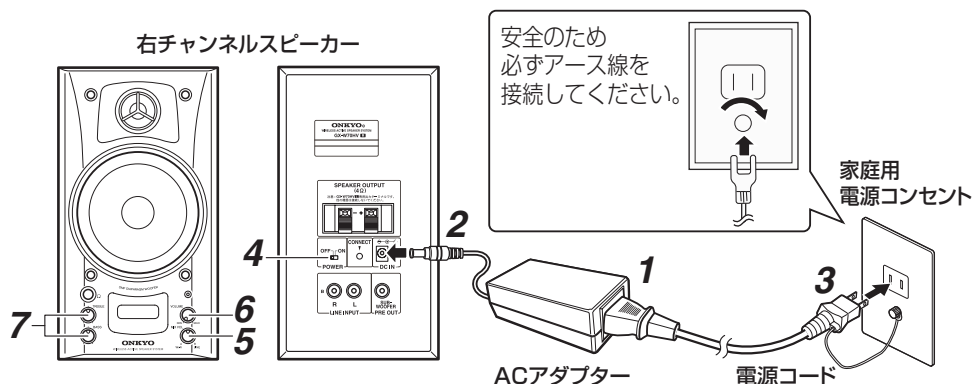
- 本機にはステレオピンプラグ⇔ステレオミニプラグのアナログ入力用接続コードが付属されています。接続する機器がステレオピンプラグ用端子の場合は、ステレオピンプラグ⇔ステレオピンプラグの接続コードを別途ご用意ください。

ご注意

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全だと、雑音や動作不良の原因になります。
- 付属のアナログ入力用接続コード、電源コードは、いっしょに束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

サブウーファーを接続する

本機のサブウーファー出力端子（SUBWOOFER PRE OUT）の出力は、左右の信号をミックスした信号で高域成分を含んでいます。
接続するサブウーファーは、ハイカットフィルターおよび、ボリューム内蔵のものを使用してください。また、サブウーファーは、メーカー、機種により入力感度が異なります。ご使用になるサブウーファーによりレベルを調整し、お楽しみください。

ご注意

- サブウーファー出力端子（SUBWOOFER PRE OUT）と、サブウーファーの入力端子をモノラルピンコードで接続してください。（本機には付属していません。）
- 電源を入れる前に、サブウーファーのボリュームを必ず最小の位置にしておいてください。
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

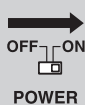
音を楽しむ

1 ACアダプターと電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、AC アダプターを電源コードに接続します。

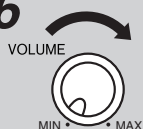
2 ACアダプター接続端子（DC IN）にACアダプターのプラグを差し込む

3 電源コードのプラグを家庭用電源コンセントに差し込む

4 電源を入れる

OFF ON
POWER

背面パネルの電源スイッチ（POWER ON/OFF）を「ON」側にしてください。パワー / コネクトインジケーターは、無線 LAN 接続のインジケーターも兼ねているため、点滅から点灯に変わるまでに最大約 2 分 30 秒かかりますが、点滅状態であっても信号入力端子（LINE INPUT B）に接続した外部機器の再生は可能です。

5 機器を再生する

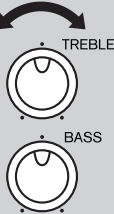
信号入力端子（LINE INPUT B）および無線 LAN に接続した機器を同時に再生すると両方の音声がミックスされます。その場合は､右チャンネルスピーカーのミキシングボリュームつまみ（MIX VOL）でお好みのバランスにしてください。

6 音量を調整する

VOLUME
MIN MAX

右チャンネルスピーカーのボリュームつまみ（VOLUME）でお好みの音量にします。

！ヒント

- 接続する機器により出力の大きさが異なるため、本機のボリュームを最大位置にしても極端に音量が小さい場合があります。このようなときは、ポータブル CD プレーヤーなどボリュームがついている機器の場合は、プレーヤー側のボリュームを上げて適正な入力が本機に入るようにしてください。

7

TREBLE

BASS

音質を調整する

お好みに合わせて、トレブルつまみ（TREBLE）とバスつまみ（BASS）で高音と低音の再生レベルを調整してください。

無線 LAN に接続する

ご自宅のネットワークが無線 LAN の場合、本機とパソコン（サーバー）をアナログ接続するかわりに、無線 LAN 接続してパソコンの音楽データを聴くことができます。

■ 必要な機器

無線 LAN ルーター / アクセスポイント（WPS 機能に対応しているもの）

！ヒント

WPS（Wi-Fi Protected Setup）について

Wi-Fi Alliance が規定した規格で、無線 LAN 接続やセキュリティに関する設定を簡単に行うための機能です。

■ 設定をはじめる前に

本機を無線 LAN に接続して、音楽を聴くには、次の条件が必要です。

- WPS 対応の無線 LAN ルーター / アクセスポイントを使用したネットワーク環境があること。
- サーバー、プレーヤー、あるいはコントローラーとして使用できるデバイス（パソコン・サーバーなど）が Wi-Fi および DLNA* に対応しており、かつネットワーク上に接続されていること。

* DLNA とはデジタルリビングネットワークアライアンス（Digital Living Network Alliance）の略で、デジタルコンテンツをネットワークを通じ共有するための規格ガイドラインを策定している非営利団体です。詳しくは、http://www2.dlna.org/ をご覧ください。

ご注意

- 本機はすべての無線 LAN ルーター / アクセスポイントとの接続動作を確認したものではありません。したがって、すべての無線 LAN ルーター / アクセスポイントとの接続は保証できません。
- 医療機器の近くや無線通信機器の使用が禁止されている場所では、無線 LAN 接続しないでください。
- 無線 LAN ルーター / アクセスポイントの仕様や接続方法などの詳細は、無線 LAN ルーター / アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
- お使いの無線 LAN ルーター / アクセスポイントによっては、WPS に対応していても、WPS 機能を使用しない設定になっている場合があります。無線 LAN ルーター / アクセスポイントの WPS に関する設定方法については、無線 LAN ルーター / アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
- 無線 LAN ルーター / アクセスポイントと本機が離れすぎていると、接続ができない場合があります。両機器が離れすぎないようにご注意ください。
- 無線 LAN は周囲の電波の影響を受けます。電子レンジなどの近くでは電波状態が悪い場合がありますので、ご注意ください。
- 無線通信時のデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

無線 LAN を設定する（WPS プッシュボタン方式）

WPS 機能を使って本機の無線 LAN を設定します。

1 **本機の電源を入れる**

2 **お使いの無線LANルーター /アクセスポイントの電源を入れる**

3 **無線LANルーター /アクセスポイントのWPSボタンを押す**

4 **クリップやピンなど先の細いもので、右チャンネルスピーカー背面パネルのコネクトボタン（CONNECT（コネクト））を押す**

ご注意

パワー / コネクトインジケーターは、最初はゆっくりとした点滅で約 30 秒点滅し、その後はやい点滅に変わります。そのはやい点滅状態になってからコネクトボタン（CONNECT）を押してください。

5 **パワー /コネクトインジケーターが点灯状態になるのを確認する**

以上で完了です。無線 LAN 接続しているパソコン（サーバー）から、本機が接続されているかを確認することができます。

ご注意

パワー / コネクトインジケーターは、最大約 2 分 30 秒経過すると無線 LAN 接続の可否に関わらず、自動的に点灯状態になります。

Windows を設定する

Windows 7 に標準インストールされている Windows Media Player 12 をサーバーとして使用する場合、本機と接続するために Window を設定します。Windows Media Player 12 の設定や操作方法は、Windows Media Player 12 のヘルプをご確認ください。

1	**本機の電源を入れる**
2	**パソコン（サーバー）を起動する**
3	**[スタート]→[コントロールパネル]→「ネットワークとインターネット」下の［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックする**
4	**「アクティブなネットワークの表示」下の［パブリックネットワーク］をクリックする** 「パブリックネットワーク」以外が表示されている場合は、手順 7 に進んでください。
5	**お使いの環境に合わせて、［ホームネットワーク］または［社内ネットワーク］を選択する**
6	**お使いの環境に合わせて、画面に従って設定する** 設定後、「ネットワークと共有センター」画面で「アクティブなネットワークの表示」の下に「ホームネットワーク」または「社内ネットワーク」が表示されていることを確認してください。
7	**［共有の詳細設定の変更］をクリックする**
8	**［メディアストリーミング］→［メディアストリーミングオプションの選択...］をクリックする**
9	**「メディアストリーミングオプション」画面で「メディアストリーミングが有効になっていません」と表示された場合は、［メディアストリーミングを有効にする］を選択する**
10	**リストから［ONKYO Wireless Speaker］を選択し、［許可］をクリックする**
11	**［OK］をクリックしてダイアログを閉じる** 以上で完了です。

パソコン（サーバー）から再生する

パソコン（サーバー）内の音楽データ（MP3、WAVE、AAC など）を再生します。その他のサーバーの設定については、各機器やソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご確認ください。

！ヒント

DLNA に対応した機器（メディアプレーヤーやゲーム機）からも再生することができます。各機器の取扱説明書をご確認ください。

■ Windows Media Player 12

1	**本機の電源を入れる**
2	**パソコン(サーバー)を起動する**
3	**Windows Media Player 12を起動する**
4	**再生したい音楽データを選択し、右クリックする**
5	**右クリックメニューから［リモート再生］→［ONKYO Wireless Speaker］をクリックする** 「リモート再生」画面が表示され、再生を開始します。

- 再生できる音楽ファイルは、サーバーに依存します。たとえば、Windows Media Player12 をお使いの場合、パソコンに入っているすべての音楽ファイルが再生できるわけではなく、Windows Media Player12 ライブラリに登録されている音楽ファイルのみが再生できます。
- 著作権保護されたファイルは、再生できない場合があります。

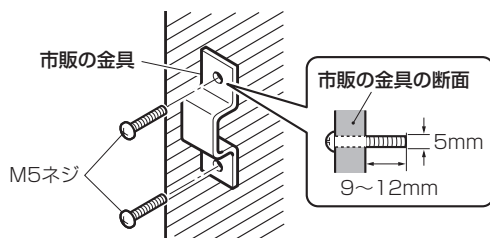
ご注意

- 無線 LAN に接続した機器と、背面の信号入力端子（LINE（ライン） INPUT（インプット） B）に接続した機器では、出力の大きさが異なる場合があります。入力切替の際の音量にはご注意ください。
- 初期状態の「リモート再生」では、音量が小さい場合があります。このようなときは、「リモート再生」側の音量を適正に調整してください。
- メディアサーバーの種類によっては、本機を認識できなかったり、サーバーに保存された音楽ファイルを再生できない場合があります。

設置について

- 本機のキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光の当たる所や冷暖房器具の近く、湿気の多いところは避けてください。
- 本機は立てた状態で使用するように設計されておりますので、寝かせたり、傾けたりしないでください。
- 本機は通常のご使用には十分耐えられますが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故の恐れがありますので、ご注意ください。
  ① オーディオチェック用 CD などの特殊な信号音
  ② ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音
  （抜き差し時は必ず本機の電源を切ってから行ってください。）
  ③ マイク使用時のハウリング
  ④ カラオケ等で使用した際の過大な音声出力
- スピーカーと設置場所との間は面接触より点接触のほうが一般的によい結果が得られます。またガタツキがあると質の良い低音が得られなくなりますので付属のスペーサーやコインのような金属板を使ってガタツキがなくなるようにしてください。
- 本機の背面部はご使用の状況により、高温になることがあります。カーテンなどの可燃物への接触や、火傷にご注意ください。

■ 市販のスタンドや金具を使って固定するには

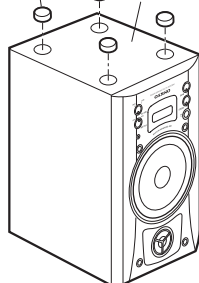
市販のスタンドや金具を使用できるように、底面にピッチ 60mm で M5 用ネジ穴を 2 個設けています。取り付け方法については、ご使用になるスタンドや金具の説明書をご覧ください。
スタンドや金具をご使用になるときは、スタンドや金具の厚みを考慮して有効ネジ長が 9 ～ 12mm のものをご使用ください。

防磁設計について

一般にパソコンやカラーテレビに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどのデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、パソコンモニターなどとの近接使用が可能となっています。ただし、設置の仕方によっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度パソコンモニターなどの電源を切り、15 ～ 30 分後に再びスイッチを入れてください。パソコンモニターなどの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合にはスピーカーをパソコンモニターなどから少しはなしてご使用ください。また近くに磁石など磁気を発生するものが置かれていますと、本機との相互作用によりパソコンモニターなどに色むらが発生する場合がありますのでご注意ください。

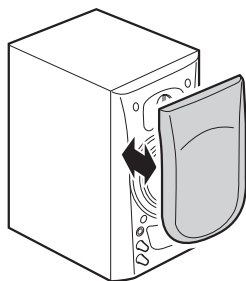
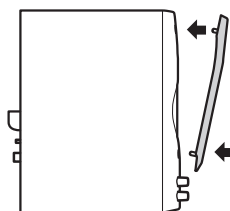
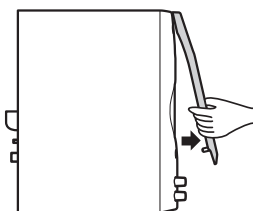
お手入れについて

表面は、時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を薄めた液に、柔らかい布を浸し、固くしぼって汚れをふきとったあと乾いた布で仕上げをしてください。
固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

スペーサーについて

より良い音でお楽しみいただくために、付属のコルクスペーサーのご使用をおすすめします。
また、コルクスペーサーを使用することで、すべりにくく安定して設置することができます。
ネジ穴を避けて貼り付けてください。
※コルクスペーサーは右チャンネルスピーカー、左チャンネルスピーカーともに同じ場所に貼り付けてください。

サランネットの脱着

本機は前面のサランネットを取外すことができます。サランネットを付けたり、外したりするときは、次のように行ってください。

1. サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側を外します。
2. 同じようにサランネットの上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体から外れます。
3. 取り付けるときは、サランネットの四隅にある突起部を本体のサランネット取り付けホルダーに合わせて押し込みます。

取り外し　　取り付け

困ったときは

下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。	● 電源プラグの差し込みが不完全。 ● AC アダプターの接続端子の差し込みが不完全。	● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。（13 ページ） ● AC アダプターのプラグを本体にしっかり差し込んでください。（13 ページ）
音が出ない。	● ボリュームつまみ（VOLUME）が最小になっている。 ● 入力ピンプラグがはずれている。 ● 無線 LAN に接続できていない。	● 適当な音量にしてください。（13 ページ） ● ピンプラグをしっかり差し込んでください。（11 ～ 12 ページ） ● コネクトボタン（CONNECT）を押して再度接続してください。（15 ページ） ● 本機と無線 LAN ルーター / アクセスポイントを近づけて設定してください。 ● WPS 対応の無線 LAN 親機を使用してください。
左チャンネルスピーカーから音が出ない。	● スピーカーコードの接続が不完全。	● スピーカーコードを正しく接続してください。（10 ページ）
音が小さい。	● ボリュームつまみ（VOLUME）の位置が不適切。 ● 接続している他機の出力が小さい。	● 正しい位置にあわせてください。（13 ページ） ● 接続している他機のボリュームを上げてください。（13 ページ）
片方のスピーカーからしか音が出ない。	● 接続が不完全。 ● 入力音源がモノラル音源。	● ピンプラグをしっかり差し込んでください。（11 ～ 12 ページ） ● スピーカーコードを正しく接続してください。（10 ページ） ● モノ→ステレオ交換アダプターを別途購入してださい。
ブーンというハム音が入る。	● ピンプラグの差し込みが不完全。 ● 外部のリーケージフラックス（テレビ等からの誘導雑音）	● ピンプラグをしっかり差し込んでください。（11 ～ 12 ページ） ● 雑音源より離してください。
サブウーファーから音が出ない。	● サブウーファーの電源が入っていない。 ● ピンプラグが抜けている。	● サブウーファーの電源を入れてください。 ● ピンプラグをしっかり差し込んでください。（12 ページ）
サブウーファーの音が小さい。	● サブウーファーのボリューム位置が不適当。 ● ソースに低音が入っていない。	● サブウーファーのボリュームを適当な位置まで上げてください。 ● 低音の入ったソースでお楽しみください。

ご注意

低域を極端にブースト（増強）したり、低域や高域が異常に強調された特殊なソースを再生した場合、本来の信号音以外に異常な音を発生する場合があります。これは、故障ではありませんが、このような状態で長時間ご使用になると、スピーカーユニット破損の原因となりますので、音量を下げてご使用ください。

主な仕様

項目	内容
形式	アンプ内蔵 2 ウェイ・バスレフ型（右チャンネル） 2 ウェイ・バスレフ型（左チャンネル）
無線受信機能	IEEE802.11 n/g/b 準拠（2.4GHz 帯）
入力インピーダンス	10kΩ以上
入力感度	600mV（Vol. MAX 時）
実用最大出力	15W ＋ 15W（4 Ω）
定格周波数範囲	48Hz ～ 80kHz（-15dB）
クロスオーバー周波数	5kHz
キャビネット内容積	3 ℓ
外形寸法	R チャンネル 123（W）× 225（H）× 203（D）mm （サランネット、ターミナル突起部含む） L チャンネル 123（W）× 225（H）× 184（D）mm （サランネット、ターミナル突起部含む）
質量	R チャンネル 2.2kg L チャンネル 1.7kg
使用スピーカー	ウーファー： 10cm OMF コーン型 ツィーター：2cm バランスドーム型
外部入力端子	アナログ入力× 1（RCA ステレオ）
外部出力端子	サブウーファー出力（RCA モノラル）× 1 ヘッドホン出力（φ 3.5mm/ ステレオ）× 1
電源	100V（50/60Hz） （付属の専用 AC アダプター「NU60-F240250-I1」使用時）
消費電力	21W（付属の専用 AC アダプター「NU60-F240250-I1」使用時）
トーンコントロール	BASS/TREBLE コントロール
その他	防磁設計（JEITA） サランネット脱着可

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

サポートサービスについて

弊社製品をご購入いただいたお客様へサポートサービスについてご案内します。

お困りのときは・・・

■ お問い合わせは

オンキヨーPCカスタマーセンターでは、製品をご購入いただいたお客様からの、製品に関するお問い合わせ、技術的なご質問、修理のお申込みを受け付けています。

ご購入製品サポート窓口

（オンキヨーPCカスタマーセンター）

10:00〜18:00（月曜〜金曜）

※土曜、日曜、祝日、および当社指定休業日を除く

（システムメンテナンスのため受付を休止させていただく場合があります。）

※ナビダイヤルは携帯電話からもご利用できます。（PHSからはご利用できません）

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。

※東京近郊（23区内）、PHS、IP電話からは、03-6746-0015をご利用ください。

※電話番号は、おかけ間違いのないようご注意ください。

■ カスタマー登録のおすすめ

オンキヨーでは、弊社製品をご購入のお客様へ「カスタマー登録」をおすすめしています。
カスタマー登録されますと、サポートページへのログインや、お問い合わせの際に迅速に対応する事ができます。
カスタマー登録について、詳しくは「カスタマー登録の方法」（☞26ページ）をご覧ください。

修理について

ここでは、引取修理（コール&ピックアップサービス）について説明しています。

■ コール&ピックアップサービスとは

電話受付
まずは、電話にて
ご連絡ください。
修理の受付を行います。

お引取り
宅配業者がお客様の
指定された日時・場所へ
引き取りにお伺いします。

修理
リペアセンタに修理品
が到着し、受付順に修理
を実施します。

返却
修理完了後、修理報告
書を同梱し、お客様の
元にお届けします。

■ 修理のお申し込みについて

修理は、電話で受け付けています。
オンキヨーPCカスタマーセンターまでお問い合わせください。

・保証書裏面に記載されている事項をよくお読みください。
・修理サービスの適用は、日本国内のみです。
・記載内容は予告なく改正、変更する場合もございますので、あらかじめご了承ください。

1. コール&ピックアップサービスの受付をおこないます。
※有償修理の場合は、一部機種を除き、製品をお預かりする前に修理金額を提示する「先見積り」をおこなっています。
2. 所定の運送業者がお客様の指定された日時･場所へ、引き取りにお伺いします。
ご購入時の梱包箱で、本体、保証書のみを梱包してください。
ご購入時の梱包箱･梱包材をお持ちでない場合は、所定の運送業者が梱包します。（別途、箱代がかかります）
お客様は本体、保証書を玄関口までご用意ください。
キーボード、マウスなどの付属品は、同梱の必要はございません。
3. リペアセンターに修理品が到着し、受付順に修理を実施します。
※有償修理の場合はお見積りを作成し、お客様に郵送または、FAXにてご連絡します。見積書記載の支払い順序を経てお支払いの確認後、修理を開始いたします。
4. 修理完了後、修理報告書を同梱し、お客様の元にお届けします。

引き取りについて

・製品輸送中の破損･故障等を防ぐために、ご購入時の梱包箱、または当社で用意したPC用の梱包箱（有料）以外でのお引き取りは原則としてお受けしておりません。
・忘れずに保証書を梱包の中に入れてください。
・ご購入時の梱包箱を使用する場合は、梱包材の向き（上下左右が発泡スチロールに表記されています）にご注意ください。
・お引き取り訪問時間帯は、9〜12時まで･12〜15時まで･15〜18時まで･18〜21時までから、お選びいただけます。
ただし、一部地域によっては、時間の指定ができない地域があります。

修理について

・有償修理において、「お客様ご申告の症状が再現しない」、または「お客様のご要望により修理をおこなわず、返却をする」場合は以下の費用が発生いたします。あらかじめご了承ください。
費用：作業工賃＋送料＋梱包箱代
（ご購入時の梱包箱･梱包材をお持ちでない場合）
・お客様ご申告の障害現象が再現しない場合は修理をおこなわず、当社規定の動作チェックを実施して返送させていただきます。
・以下の場合はすべて有償となります。
1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書にお買い上げ年月日、保証期間、型名または品名、および製造番号、販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
3. お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障。
4. お客様の分解、改造などによる故障。
5. 地震、落雷などの天災、人災（停電など）による故障。
6. 当社指定以外の機器、消耗品に起因する故障。
7. 消耗部品（バッテリパック等）の交換。
※ 保証期間内でも保証規定に基づき有償と判断された場合は、お見積りのご連絡をさせていただくことがあります。
・コンピュータウィルス等により生じた不具合の修正はできません。
・本体に貼られたラベルや、お客様自身が貼られたラベル類は修理の際に剥がすことがあります。剥がしたものは返却できませんのであらかじめご了承ください。
・修理で交換した故障部品は、返却できません。
・修理期間中の代替機の貸し出し等はおこなっておりません。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後８年間保有しています。
この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはオンキヨーPCカスタマーセンターへご相談ください。

カスタマー登録の方法

カスタマー登録をされますと、サポートページへのログインや、お問い合わせの際に迅速に対応することができます。インターネットを通じて容易に登録できる「WEB登録」をご利用ください。インターネット環境のないお客様は、「郵送登録」をおこなうことができます。

■ WEB登録

本製品をご購入のお客様には、簡単手間なしWEB登録をおすすめします。
WEB登録は、**弊社WEBサイト（https://onkyodirect.jp/pc/shop/customer/menu.aspx）**にアクセスし、画面の指示にしたがって、登録フォームに必要事項の入力をおこないます。登録時には、製品名と製造番号（**Serial No.**）の入力が必要になります。
ご購入品の保証書をお手元にご用意ください。

■ 郵送登録

インターネット環境をご利用いただけない場合は、郵送登録をご利用ください。カスタマー登録シート（☞27ページ）に必要事項をご記入後、封筒に入れ切手を貼り、下記へお送りください。
（郵送代はお客様のご負担となります。）

カスタマー登録窓口

WEB登録　こちらへアクセスしてください。
https://onkyodirect.jp/pc/shop/customer/menu.aspx

郵送登録　**郵送先：〒682-0925**
鳥取県倉吉市秋喜243番地
オンキヨートレーディング株式会社
カスタマー登録係宛て

■ 登録完了の通知

カスタマー登録完了後に、カスタマーID（ログイン名）、パスワードを郵送でお届けします。

■ 登録完了後の変更について

登録内容の変更についてはWEBのみ受け付けております。
弊社WEBサイト（サポート）（https://onkyodirect.jp/pc/shop/customer/menu.aspx）にアクセスして、MEMBERS登録→登録情報の変更で、登録情報を変更してください。

※2011年7月現在　※掲載されている内容、サポートを予告なく変更される事があります。

カスタマー登録シート

郵送のみ

① 製造番号については、梱包箱または保証書袋に添付しているラベルを貼ってください。ラベルがない場合は保証書を参照し、ご記入ください。製品名（型番）は、保証書に貼られているラベルを参照しご記入ください。

型番 XXXXXX

製造番号 XXXXXXXXXX

→ 製造番号ラベル 貼り付け位置

※保証書のラベルをご参照の上、お間違いのないようご記入ください。

※梱包箱にラベルがない場合、保証書のラベルをご参照の上、下記の欄にお間違いのないようご記入ください。製造番号（Serial No.）は14桁です。

製品名（型番）		製造番号（Serial No.）	

② 過去に弊社製品をご購入いただき、カスタマーIDをお持ちの方はご記入ください。 →

カスタマーID（14桁）	

③ カスタマー登録の形態に○をしてください。個人/法人の区別はご購入の名義によってご判断ください。 → 個人登録 ・ 法人登録

※本製品は法人向けモデルではありません。法人登録の場合でも弊社「法人様専用サポート」の対象外となります。ご了承ください。

④ 下記をご記入ください。個人登録の場合は、会社名・部署名の記入は不要です。すでにカスタマーIDをお持ちの方も照合のため、下記の記入をお願いいたします。

フリガナ	フリガナ
会社名	部署名
フリガナ	e-mail
お名前（個人名）もしくは、ご担当者名	お電話

〒□□□-□□□□

カスタマー登録完了のお知らせをお届けするために、お間違いのないようにビル名・マンション名・団地名・棟号室など、詳しくご記入ください。

ご住所　都道府県　市区郡町村

お買い上げ年月日	20　年　月　日	オンキヨーからの最新情報を希望される場合は○をしてください	はい ・ いいえ

郵送に際しては、このシートを折りたたみ、封筒に入れ切手を貼ってお送りください。
宛先は表面をご覧ください。
※WEB登録をされる場合は、郵送登録の必要はありません。

キリトリ線

個人情報保護方針について

2010年 1月 オンキヨー株式会社

オンキヨーは、お客様から個人情報を安心してご提供いただくため、以下の個人情報保護方針を遵守いたします。

1. オンキヨーは、「個人情報管理規程」に従って、個人情報保護のための管理体制を確立し、すべての従業員に個人情報保護の重要性を周知するとともに、規定遵守の徹底を図ります。
2. オンキヨーは、お客様からご提供いただいた個人情報の適正な取扱いと紛失、改ざん、漏洩等に対する予防および安全管理に努めます。
3. お客様から個人情報をご提供いただく場合は、利用目的を明確にしたうえで、必要な範囲に留めるよう配慮いたします。また、ご提供いただいた個人情報は、正確かつ最新の内容に保つよう努めます。
4. ご提供いただいた個人情報は、次のいずれかに該当する場合を除き、如何なる第三者にも開示ならびに提供いたしません。
   (1) お客様の同意がある場合。
   (2) お客様が希望されるサービスを行うため、オンキヨーが業務委託先に必要な範囲で開示する場合。
   (3) お客様からのお問い合わせに対し、オンキヨーの関係会社等から回答させていただくことが適切な場合。
   (4) 法令の定めに基づく場合。
   (5) 人の生命、身体または財産の保護のために必要であって、お客様の同意を得ることが困難である場合。
   (6) 国の機関もしくは地方公共団体またはその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要があって、お客様の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがある場合。
5. ご提供いただいた個人情報は、マーケティング、製品開発およびお客様へのサービス業務に利用、あるいは、製品またはサービスに関するお客様への情報提供に利用させていただきます。
6. オンキヨーは、個人情報に関して適用される法令、規範を遵守するとともに、お客様の個人情報の保護をさらに徹底するため、上記各項における取組みを必要に応じて見直し、改善いたします。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　(　　)

メモ：

ONKYO

オンキヨーデジタルソリューションズ株式会社

東京都中央区八重洲2丁目3番12号　〒104-0028

Y1107-2

SN 29400755A

* 2 9 4 0 0 7 5 5 A *